

# 地域を守る担い手に

～よいものを作り残すこと。私たちの使命です～

中部地方整備局 飯田国道事務所 飯田維持出張所

## 1. はじめに

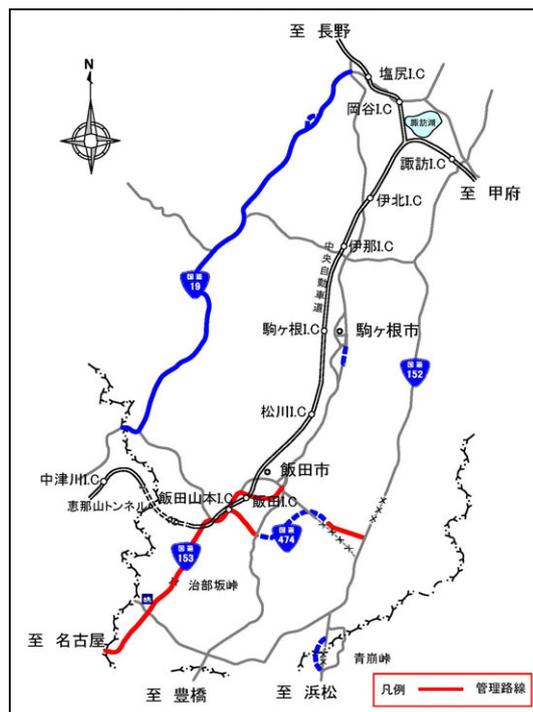
飯田維持出張所は、長野県南部の国道153号と三遠南信自動車道（国道474号）の総延長64kmの道路管理と新設工事を行う部署です。それぞれの路線特徴として、国道153号は、長野県と愛知県を結ぶ路線であり最高1,178mと中部地方整備局では最高標高を通過する路線です。このため、冬期5ヶ月にもおよぶ雪氷作業を余儀なくされるほか、市街部から高低差が大きく縦断勾配が7%とカーブの多い道路線形となり長大橋とトンネルが連続しています。



冬期国道153号の様子



連続する長大橋



また沿道には、3つのスキー場が近接し、冬季には20万人の観光客が訪れるほか、温泉施設等の観光資源が豊富で観光路線の一躍を担っています。

一方で、並行する中央自動車道の恵那山トンネルは、危険物搭載車両が通行できないため、名古屋圏からの当該車両は、本路線を通行しており生活道路に加え地域の生命線となっています。

次に、高規格幹線道路の三遠南信自動車道（国道474号）は、中央自動車道飯田山本ICから分岐し、静岡県の新東名高速道路浜松いなさJCTまでの約100kmを結ぶ路線です。

長野県内では、現在約13kmが供用しており、供用区間の標高は900mに達し、約5kmの長大トンネルを有しています。

そのほか、新設工事として、名勝天龍峡を通過する橋長280mのアーチ橋、天龍峡大橋（仮称）の建設を進めているところです。



国道153号に隣接するスキー場



天龍橋大橋（仮称）完成予想図

## 2. メンテナンスの取り組み

「メンテナンス元年」を契機に一層の維持管理の重要性が叫ばれる昨今、当出張所の道路施設の劣化損傷も例外ではありません。

道路構造物に目を向けますと、主要構造物として橋梁 110 橋、トンネル等 8 本を管理しており、昭和 50 年初頭に供用したものが大半を占め劣化損傷が如実化してきています。このため、計画的な補修計画を立案し限られた予算のなかで可能な限り補修措置を実施しています。

特に、当出張所の管内は、標高 1,000m 以上に位置する橋梁が 21 橋存在し、これらは、建設後 40 年余り経過しています。また、冬季にはマイナス 10℃ 以下となる日も少なくなく、今年度は管内の最低気温は、マイナス 17.3℃ を記録しています。このため降雪等による凍結防止剤の散布が 11 月中旬から 4 月上旬の 5 ヶ月間も行われています。このような環境条件から、コンクリート部材は、凍害、塩害に加えアルカリシリカ反応（ASR）による損傷が見受けられ、平成 25 年度には、PC 桁の架け替えをはじめとし、RC 床版の打ち換え等の大規模な補修を継続的に実施しています。



道路橋（床版）の損傷状況



道路橋（床版）の打ち換え補修

また、山岳道路が故に防災事業に目を向けますと、落石や、のり面保護等の対策が必要な箇所を、鋭意調査、対策工事を実施しているところです。

特に、平成 25 年 9 月には、時間最大雨量 73.5mm、連続降雨量 293mm と記録的な豪雨により、10 箇所余りが被災しました。被災は、土石流発生や、のり面崩壊等、国道を遮断するものが殆どで応急復旧後、直ちに本復旧に取り掛かり平成 27 年度初春には全ての対策を完了したところです。



記録的豪雨による被災状況

### 3. 地域への取り組み

#### 1) 技術者育成

平成 26 年度より、道路法の改正がなされ全ての道路管理者は、道路構造物の点検・診断・措置・記録を適切に行い、メンテナンスサイクルを徹底することが義務づけられました。

私ども職員におきましても、従来から橋梁点検講習の実務や座学、その他構造物等の研修などが行われ、最近では、のり面、トンネルの実務研修も強化されているところです。また、整備局外の国土交通大学等、さらに掘り下げた研修にも参加し技術力の研鑽に努めているところです。

一方で、全国の市町村等自治体には土木職が存在する自治体は少なく当出張所管内に位置する伊那谷地域においても同様な状況です。

このため、メンテナンスサイクルを徹底するため私ども職員は、地域への実務講習、座学等の講義を実施しています。また、作り手である地元施工業者等からメンテナンスに関する講習依頼を受け、点検の着目点や橋梁補修の事例等の講習も実施しているところです。これらは、平成 26 年以降に 8 回実施してきたところです。



自治体等への実務研修



地元企業、自治体への講習

#### 2) 危機管理

当出張所では、地震等による被災時の危機管理として応急組立橋を保管しています。去る平成 26 年 7 月、当事務所管内である長野県南木曾町において土石流発生により地域は壊滅的ダメージを受け、尊い子供の命が奪われました。本被災により、河川を渡河する橋梁は、地域唯一の幹線道路である国道 19 号を除き全橋消失し、地域の生活及び復旧工事に多大な影響を与えることとなりました。

このため、当事務所は、長野県から地域復旧のため応急仮設橋貸出しの要請を受け、応急組立橋の貸出し及び設置指導を行い、4 日間で架設しました。



出張所管内に応急組立橋の保管



被災箇所での応急組立橋の利用状況

また、平成 25 年 2 月に関東甲信越を襲った記録的降雪により、飯田市内は一晩で積雪 80cm にも達し市民の生活に大打撃を与えました。このため、市道等の除雪協力を行うほか山梨県への除雪応援を行ってきたところです。



飯田市内の市道の除雪支援



他県への除雪支援

そのほか、当出張所は、市内から離れた山岳部に長大トンネルを管理することから、トンネル内の事故を想定し国道上にドクターヘリコプターを着陸させる防災避難訓練を実施しています。



長大トンネルでの防災避難訓練



### 3) 地域との協働

当出張所は、長野県の南の入り口であり観光で訪れる方も多く、道路の美化活動や景観に配慮をしています。このことから国の清掃に加え、ボランティアサポートプログラムとして17団体の地域や企業の皆さんに道路の美化活動や清掃活動に参加していただき、快適な道路環境の保持に努めています。



地域住民との協働で沿線での美化活動

特に、南信州の玄関口となる中央自動車道飯田ICにアクセスする国道153号は、アップルロードいだ愛護会による「りんごの木」が風物詩となり、地域住民や地元小学生等により大事に育てられています。このりんごの木は、晩秋には真っ赤なりんごが5,000個近く実をつけ、小学生が収穫した後に盛大な収穫祭が行われるほどです。これらの取り組みは、美化活動という観点のみでなく地域の声を聞く場としても非常に重要であり、今後も積極的に取り組みを推進していくよう考えています。



アップルロード（国道153号）のりんごの木

#### 4) 広報

道路事業を円滑に進めるには、多くの方々にわかりやすい広報を行うことは非常に重要です。

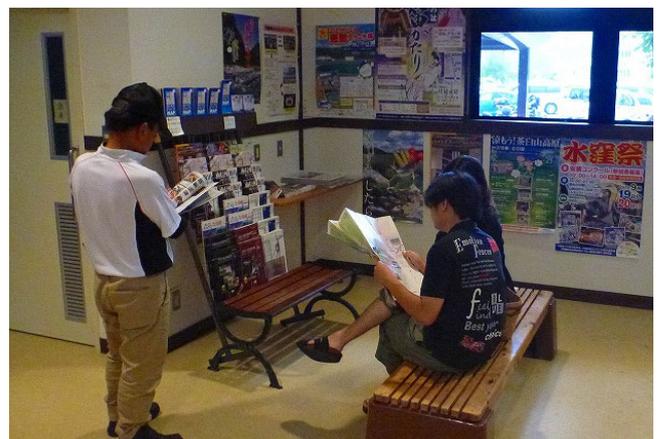
このため、ハード面での補修工事の広報のみでなく、冬期観光で訪れる道路利用者の安全・安心に着目した広報活動として、スキー場、観光協会等においてパンフレットの掲示や配布等により雪道装備の啓発活動を行っています。



沿線スキー場と関係機関と協力した広報活動



職員によるドライバーへの啓発活動



道の駅 信州平谷にて 広報スペースの確保

また、道路管理の大切さを伝えるため、地元児童等へ「除雪の大切さ」「道路の補修」等を主題とした教育を学校関係者と協力して実施しています。



除雪車両の見学



道路の大切さの広報



災害対策車両等の公開見学



## 4. まとめ

飯田維持出張所は、国土交通省の出先機関で最も地域の最前線で活躍すべき職場であり、道路施設の工事監督だけでなく、国の施策を地域にマッチさせた取り組みを効果的、効率的に実施していくことが必要と考えています。

このためには、出張所が地域のアンテナとなり幅広いニーズを収集し、地域が安全・安心かつ活発になるようサポートする担い手とし業務に取り組む必要があると考えています。

今後も、スタッフ一同「よいものを作り残すこと」を私たちの使命とし「地域を守る担い手」として業務に邁進していく所存です。